

令和7年度 第1回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	③消費下支え等を通じた生活者支援	南陽市 お米券事業	①主要農作物のひとつである米の長引く価格高騰を受け、消費者の米離れによる米の消費減退を防ぐとともに、米購入に係る家計の負担を軽減するため、米取扱店舗で利用できるおこめ券を全市民に配布する。 ②おこめ券 ③合計16,266千円 ・おこめ券購入費14,450千円(500円×28,900人) ・消耗品費150千円 ・印刷製本費293千円 ・通信運搬費1,287千円 ・その他事務経費86千円 ④南陽市民	R7.7	R8.3
2	②エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援	学校給食物価高騰対策事業	①市内小中学校での給食提供に必要な食材料の調達にあたり、物価高騰相当分(21.3%)を支援することにより、食材料の高騰による給食費の保護者負担増額を抑制し、安全で安心な給食の質と量を保つ。 ②物価高騰相当分の食材購入費(教職員は除く) ③合計 25,968千円 小学校:57円/食×1,299人×210日=15,549,030円 中学校:69円/食×719人×210日=10,418,310円 ④市内小中学校、給食センター、市内小中学校に通う児童・生徒及びその保護者	R7.4	R8.3